

アローラ氏に165億円

ソフトバンクが報酬

孫氏後継候補

ソフトバンクが19日付で副社長に就任したニケシュ・アローラ氏に対し、2015年3月期に165億円余りの報酬を支払ったことが関東財務局に同日提出した有価証券報

告書で分かった。アローラ氏は元米グーグル上級副社長で、昨年9月に経営陣にスカウトされた。孫正義社長が「最重要の後継候補」と表明して

おうち株式による報酬が19億9500万円、総額



アローラ氏

には入社に伴う契約金を含む。東京商工リサーチによると、上場企業の役員報酬では自動車部品メーカー、ユーシンの田辺耕二会長兼社長が受け取った14億5000万円（14年11月期）が従来の最高。

アローラ氏はこれを大きく上回った。孫社長の前期の役員報酬は1億3100万円だった。

アローラ氏はインド出身で、ドイツテレコムの子会社Tモバイルの欧州部門幹部などを経て04年にグーグルに移った。同社の幹部時代に孫社長と出会った。その後、インターネット事業などの議論を交わすなか

で「人格や洞察力、情報革命への情熱にほれ込んで口説き落とされた」（孫社長）。

アローラ氏は昨年9月にソフトバンクへ移籍後、孫社長と二人三脚でアジアのネット企業への投資を加速してきた。今月3日に発表した韓国のネット通販大手フオワード・ベンチャーズへの10億ドル（約1230億円）

の出資はアローラ氏が主導してまとめた。

ソフトバンクは利益の8割を国内通信事業で稼ぐ構造から脱し、海外展開を加速する方針。戦略を執行する上で、孫社長はアローラ氏を最も重要な後継者候補と宣言していた。19日に都内で開いた定時株主総会で取締役

に選任され、代表権を持つ副社長に就任した。